

# エゾマイマイ (有肺類: ナンバンマイマイ科 (オナジマイマイ科)) の東限の採集記録

森井 悠太

060-8589 札幌市北区北9条西9丁目, 北海道大学大学院農学研究院

## A New Record of *Ezohelix gainesi* (Camaenidae (Bradybaenidae), Pulmonata) at Notsuke Sandspit, Eastern Hokkaido, Japan

MORII Yuta

Hokkaido Univ., N9W9 Kita-ku, Sapporo, Hokkaido 060-8589, Japan ✉[yutamorii@gmail.com](mailto:yutamorii@gmail.com)

An alive and an empty shell of *Ezohelix gainesi* (Camaenidae (Bradybaenidae), Pulmonata) were collected at Notsuke sandspit, eastern Hokkaido, northern Japan. This is the easternmost distribution record of *E. gainesi*. *Succinea lauta* and *Discus pauper* were also collected at the first time in the same place. Notsuke sandspit has been creating just since around 2,500 years ago, so this finding might be important for the biogeographic history of these land snails.

2014年5月15日, 北海道別海町の野付半島において, 2個体のエゾマイマイ *Ezohelix gainesi* (Pilsbry, 1900) (ナンバンマイマイ科 Camaenidae (オナジマイマイ科 Bradybaenidae)) の幼貝を採集した (図1, 2). 採集した2個体のうち1個体は死殻であったが, もう1個体は生存個体であった. エゾマイマイは, 北海道内に広く普遍的に分布するだけでなく, 東北地方の高山地帯にも分布することが知られているが, 知床半島や根室半島を含む北海道の最東端への分布は確認されていない (江村 1982; 自然環境研究センター 2002, 2010; Morii et al. 2015). 今回新たに発見された産地は, これまでに知られていたエゾマイマイの分布の東限を大きく更新するものである (図1-A).

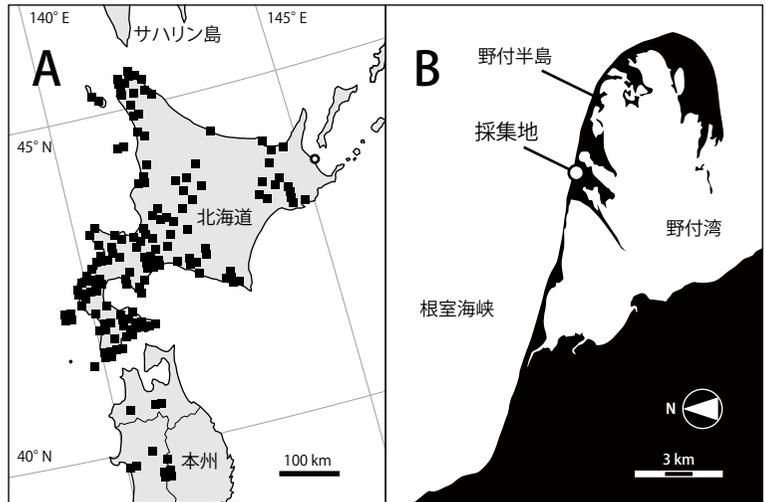
またこの産地では, エゾマイマイの他にオカモノアラガイ *Succinea lauta* Gould, 1859 (オカモノアラガイ科 Succineidae), およびパツラマイマイ *Discus pauper* (Gould, 1859) (パツラマイマイ科 Discidae) が生息していることも確認した. オカモノアラガイとパツラマイマイについても, 野付半

島で確認された記録はなく, 本報告が最初の記録となるが, 共に知床半島にまで分布していることが明らかにされており, 東限の記録であるかどうかは定かではない (自然環境研究センター 2010).

野付半島は, 延長約 28 km を誇る日本最大の砂嘴地形である (図1-B). 約 2,500 年前から形成され始め, 完新世の海水準変動に対応し砂嘴を分岐しながら発達してきたと考えられている (高野 1978). 今回3種の陸産貝類が発見された産地は, 中でも最も古く陸地化したと考えられている部分であり, 現在はミズナラの優占する森林となっている (図1-B) (高野 1978).

しかしながら, 2,500 年という期間は生物地理学的なタイムスケールとしては非常に短く, 陸産貝類のような移動分散能力の低い生物が分布していたことは興味深い. 将来的には DNA を用いた集団遺伝学的な解析などを用いることにより, 3種の陸産貝類がどのようにして野付半島に分布するに至ったかを明らかにできると期待される. 今回の発見は陸産貝類の移動分散の経路や速度を推定

図1. エゾマイマイの分布域. A: 自然環境研究センター (2010) に基づくエゾマイマイの分布 (黒丸). 本報告における新たな産地 (白丸). B: 野付半島における採集地の詳細.



するうえで重要な知見となるかもしれない。

**Ezohelix gainesi** (Pilsbry, 1900) エゾマイマイ

標本: 北海道根室地方, 野付郡別海町, 野付半島, トドワラ. 2014年5月15日. 森井悠太採集. Specimen examined: Hokkaido, Nemuro district, Notsuke-gun, Betsukai-chō. Notsuke Peninsula. 43° 36'24.2" N, 145°17'00.6" E (WGS 84). ca 5 m alt. May 15, 2014. coll. Y. Morii. Morii Collection M905, M906.

**Succinea lauta** Gould, 1859 オカモノアラガイ

標本: 北海道根室地方, 野付郡別海町, 野付

半島, トドワラ. 2014年5月15日. 森井悠太採集. Specimen examined: Hokkaido, Nemuro district, Notsuke-gun, Betsukai-chō. Notsuke Peninsula. 43° 36'24.2" N, 145°17'00.6" E (WGS 84). ca 5 m alt. May 15, 2014. coll. Y. Morii. Morii Collection M907, M908.

**Discus pauper** (Gould, 1859) パツラマイマイ

標本: 北海道根室地方, 野付郡別海町, 野付半島, トドワラ. 2014年5月15日. 森井悠太採集. Specimen examined: Hokkaido, Nemuro district, Notsuke-gun, Betsukai-chō. Notsuke Peninsula. 43° 36'24.2" N, 145°17'00.6" E (WGS 84). ca 5 m alt. May

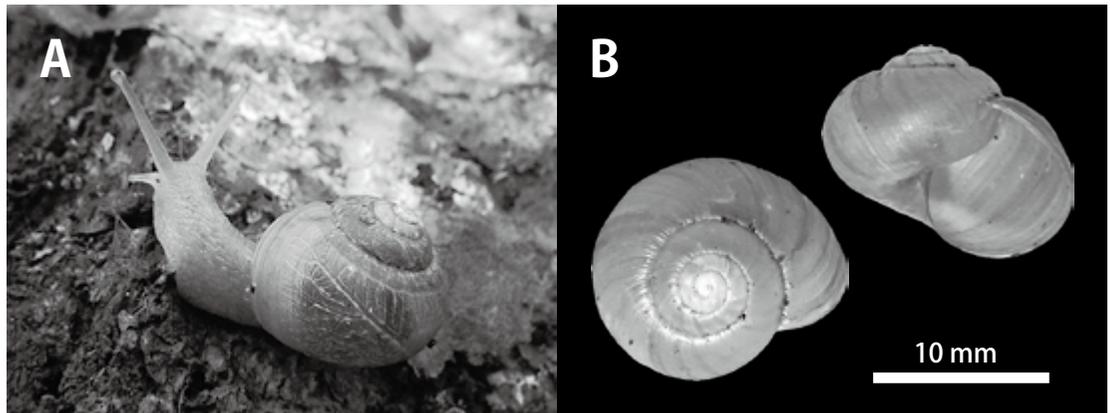


図2. 野付半島において発見されたエゾマイマイ. A: 生態写真. B: 同一個体の殻写真. 右上: 正面, 左下: 真上.

15, 2014. coll. Y. Morii. Morii Collection M909, M910.

## 謝辞

採集にあたり、Dr. Larisa Prozorova (ロシア科学アカデミー極東支部) のご助力をいただいた、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

## 引用文献

江村重雄. 1982. カタツムリを捜して50年: 北海道. しぶぎつぼ9: 2-6.

自然環境研究センター (編). 2002. 生物多様性調査動物分布調査 (陸産及び淡水産貝類) 報告書. 1342 pp. 環境省自然環境局生物多様性セン

ター, 富士吉田.

自然環境研究センター (編). 2010. 日本の動物分布図集: 自然環境保全基礎調査動物分布調査. 1070 pp. 環境省自然環境局生物多様性センター, 富士吉田.

Morii Y., Yokoyama J., Kawata M., Davison A. & Chiba S. 2015. Evidence of introgressive hybridization between the morphologically divergent land snails *Ainobelix* and *Ezobelix*. *Biological Journal of the Linnean Society* 115: 77-95.

高野昌二. 1978. 野付崎における分岐砂階の発達. *東北地理* 30: 82-90.